

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19 20	入居者様・ご家族様の交流の機会を作っているが、定期的な交流にはなっていない。行事や家族会が中心の交流となっている。	外出行事や施設内行事の参加を家族様に継続的に呼びかける事を継続し、交流の機械を定期的にする。また、広報誌や日々の報告をまめに行う事で家族と施設の距離を縮め、面会や外出を行い易い環境を作る。	・2回/年 家族様が参加し易い、日曜日の昼に普段の昼食を準備し、食後に喫茶を楽しみながらの「家族会」を継続し、家族様と職員との情報共有の場を設ける。広報誌に普段の様子がわかるような写真を使用したり、普段の表情がわかるような内容とする。	12ヶ月
2	30 31 33	27年度にお一人看取りをさせていただいたが、手探りの状態で看取りを無事行えた。今後も看取りを行う事を加奈が得ると、職員間で見取りに対する認識にずれがある。	看取りが介護の流れである事を全職員が意識し、今後起こりうる看取りについての研修を定期的に行い、看取りについての知識を増やす。主治医や看護師との連携を密に行う事ができる体制を作り上げる。	28年度の施設内で看取りについての研修を行う。入居者様の状態を適切に把握できるような視点を持てるように日々の業務より申し送りを密にする。主治医の定期往診の時に対応職員のみでなく、全ての職員が状態を報告できるような観察を行う。	12ヶ月
3	2 3 4	地域の方々との交流や連携を日々の業務の中で図っている。協力をして頂いて事が多いが、地域に対しての貢献や交流が不足している。	夏祭りや運営推進会議ほおずき神戸玉津に来ていただく機会は継続して作っていく。その際に参加だけではなく運営にも意見等もいただく。また、こちらから地域との交流の機会へ参加を行う事で地域の一員としても認識を地域の方にも持たせていただく。	28年度も夏祭りや運営推進会議への参加や計画の段階からご意見をいただく。会議等でいただいた意見を具体的に対応する。また、地域の祭りや行事への入居者様との参加や公園の掃除への参加の継続、散歩の際の挨拶等、地域への関わりをこちらからも行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。